

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和元年 8 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 一般社団法人 日本病院会 教育部教育課
〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日
定 価 1 部 150 円 1 カ年 1,600 円(税込・送料込)
郵便振替 00190-5-396045
名 義 一般社団法人 日本病院会 通信教育部

【あしたを担う Information Literacy】に向けて

齊藤 正伸

第 45 回日本診療情報管理学会 学術大会長
近畿病歴管理セミナー 会長／独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター 院長

第 45 回日本診療情報管理学会学術大会を令和元年 9 月 19 日 (木) ~ 20 日 (金) グランフロント大阪で開催します。

診療情報管理士の皆さんは、医療機関における患者さんの診療情報など、人の健康に関する情報を国際統計分類等に基づいて収集・管理、データベースを抽出・加工・分析し、多様なニーズに適した情報を提供する専門職種として多職種と連携活動していることと思います。その専門スキルを持って、医療における安全管理や質の向上、病院の経営管理に貢献する“あしたを担うための情報活用力”を養う企画を考えました。Information Literacy とは、「情報を使いこなす能力」という意味です。あしたという言葉から皆さんは、どのような“あした”をイメージするのでしょうか。タイミングや人によって違い、日が明ける明日や 1 年後、10 年後という未来を想像されることと思います。このテーマには、本学術大会が診療情報管理士に有益な学びの機会をもたらし、社会の変化に応じた情報管理・活用の実現における一助になるための期待を込めて、実行委員会でアイデアを持ち寄った候補の中から投票して決定しました。過去、「診療録管理士」と呼ばれ病歴の管理が主たる業務となっていました。診療録の電子化が進んだことで、保管や整理は、将来、人工知能 (AI) に代替されると示唆されています。変わってこれまでのスキルは、DPC を含む疾病分類やがん登録、NCD 登録を始めとする蓄積された「診療情報の活用」という観点で活躍することが期待されています。

科学の発達や技術の向上で、医療が専門に分化したことで専門家が情報が多様化してきました。超々高齢化社会において平均寿命の延びと共に医療費も嵩む時代です。国民が本当に必要とするケア・ケアが何なのか急速な変化に敏感に反応できるアンテナを養うための企画を考えました。国民総生産に対する医療・介護の捻出問題だけでなく人材確保も大きな課題とされています。そのため、効率的に、ひと・もの・かね・時間の資源を活用する提案ができるような人材として診療情報を管理する専門家を目指していただければと願っています。

情報を扱うためには、自ら得にくいものと意識せずとも得られるものがあります。いずれにしても、その情報を如何に捉え、行動に繋げるかに関する知識と知恵が無ければ“無”になります。ひとの情報処理能力は一定の容量であることが様々な研究から分かっていますが、情報が資金になり資産になる時代です。そんな時代を生きる次世代を担う方々が楽しんでもらえるような企画も検討しました。また、AI やロボットと共進するヒントもあると思います。

ぜひ大阪の美味しい物、楽しい街を堪能いただき未来に向けたあしたの“わくわく感”を充電していただきたいと思います。

